



記事:

- ・平成25年度定期総会を開催！
- ・「空から“つなぐ”人文字しゅうなん」に参加
- ・“郷土の宝”
藤永俊雄 先生
- ・“第7回てくてくウォーク”「神宮あさひの里 大パノラマ展望コース」
- ・“第8回てくてくウォーク”「西徳山ふるさと物語 夜市・戸田ぐるり編」
- ・シリーズ“地元のパワースポット「湯野の板碑」”
- ・「種から育てた苗で花壇づくり」
花いっぱい運動
- ・お知らせ

会員募集中

あなたも「西徳山まちづくりの会」で一緒に活動しませんか。会では、常時会員を募集しています。

連絡先:

(0834)63-3770

(神本)まで

発行 西徳山まちづくりの会

平成25年度定期総会を開催！

平成25年4月20日(土)午後3時から、“とれたて市場”「ゆーとぴや」で、連合自治会長や市役所担当課の皆さんを来賓に迎え、平成25年度定期総会を開催しました。

総会では、6つの活動方針と15の活動計画を決定しました。

総会終了後、あいにくの雨模様でしたが、いけいけ広場テントでバーベキュー懇親会を開き、今後の展開を語り合い、大いに盛り上がりました。



大根を囲んで 総会の風景

西徳山まちづくりの会では今後も、住民主体のまちづくり活動を行政と協働しながら進めていきます。

「空から“つなぐ”人文字しゅうなん」に参加



周南市誕生10周年記念市民手づくりイベントとして、4月21日に実施された空撮に、私達西徳山まちづくりの会メンバーも道の駅予定地で参加し、空に向かって笑顔で大きく手を振りました。

“郷土の宝” 藤永 俊雄 先生

地域文化の高揚に尽力

まずは、お忙しい中にもかかわらず、私たちの取材に快く応じてくださった先生に感謝しなければならない。

訪問して奥様に通されたのがアトリエ。本当のプロの仕事場を見て感激する。本来なら画家の仕事場は人には見せないとのことだが、藤永先生のざっくばらんな性格がうかがわれる。

今、力を入れておられるのが高齢者の元気作りだ。そのひとつがシニアアートフェスティバル。シニアのための作品展だが、それにたくさんの人たちが賛同して、大きなうねりのようにになっている。絵画はもちろんのこと、写真、工芸などレベルの高い多くの作品が出展されている。「老人が元気なら、若者も安心して活躍できる」と言い切られる。私たちも同感した。シニアに限らず、誰でもが自分の作品の発表の場が必要。しかも、進化しなければならない、それが励みになるとのこと。

先生の発言の一つひとつ、説得力がある。

きっかけは、ルネッサ長門で先生の個展が開催されたときのこと。会場の前でたくさんの地域のお年寄りたちがブルーシートの上で弁当を食べ始めた。いい気はしなかったそうだが、展覧会が始まると、お年寄



ダンディですね！ 藤永先生

り全員が絵を鑑賞したとのこと。しかも、ブルーシートの後始末はルネッサ長門の職員たち。先生は、「これだ！」と思われた。何も気取らなくてもいい。お年寄りたちが元気で、地域の文化が広がればいいのではないかと考えられたのだ。

私たち西徳山まちづくりの会の活動に対しても理解を示された。戸田駅の活用についても、「よそがやっていることをやっても面白くない。ここでしかないものをやりましょう。私も応援します。」とのありがたいお言葉も頂いた。

取材に行った私たちが、先生から元気をもらって帰ってきた。もう一花も二花も咲かせてもらいたい。

(神本記)

藤永先生は香月泰男画伯に師事。徳山高校で17年間教鞭をとられ、48歳で教師の職を辞めて、画業に専念され、現在に至る。その間に夜市に徳山美術研究所を設立。弟子多数。

2005年には山口県芸術選奨を受賞。

国画会会員。



西徳山の芸術文化について熱く語る



“第7回てくてくウォーク”

「神宮あさひの里 大パノラマ展望コース」

3月24日(日)戸田駅を8時40分に往路8km・復路8.7kmの長丁場にいささか不安を感じながら、元気よく出発！

苔谷棚田の長閑な美しい景色を眺めながら、汗をふきふき、昼前には「あさひの里」へ到着。展望台に立つと、疲れが唼々に吹き飛んでいきました。



正に「パワースポット」。

「西徳山にこんな素敵なスポットがあるなんて！」

東西及び南側に開けた丘で、昇仙峰を眼下に眺めながら、大きく開けた瀬戸内海の島々や東には長野山・千石岳・金峰山・四熊岳等の山々が見えます。

帰りも湯野郷の美しい草木や風景に春を感じながら15時に戸田駅に到着

よく歩いて ちょっと疲れましたが、素敵な1日でした。

“第8回てくてくウォーク”

「西徳山ふるさと物語 夜市・戸田ぐるり編」

これまで知らなかった西徳山の身近な歴史と物語を訪ね、是非記録として残したい。そんな気持ちから、「西徳山ふるさと物語」コースの第1回目として、「夜市・戸田ぐるり編」に取り組みました。



5月26日朝10時戸田駅を出発 ⇒ 夜市川沿いをてくてく ⇒ 鷹飛原八幡宮 ⇒ 的場公園(トイレ休憩) ⇒ 赤迫峠をてくてく ⇒ 船山神社 ⇒ 丸山公園をぐるり ⇒ 12時半 桜田八幡宮で昼食 ⇒ 旧山陽道をてくてく ⇒ 山田家跡地 ⇒ 昇仙峰 ⇒ 戸田駅14時半着

私達のふる里はロマンの歴史の里でした。もっともって行ってみたい、知りたい、触れてみたい我がまち西徳山にご一緒しましょう。次回は9月を予定しています。



西徳山まちづくりの会

編集後記

例えば自動車のエンジン。ガソリンだけ注いでやれば動き続けると思うのは大きな間違いで、エンジンオイル、つまり潤滑油が無ければ、たちまち焼きついてしまう。潤滑油は機械を滑らかに動かす役割と同時に冷却の効果もある。

人間の生活の中にも潤滑油が必要であると考えられる。では、人にとっての潤滑油とは、読書であったり、絵の鑑賞であったり、いい音楽を聴くことであったりする。これらは、一見人間が生きていくためにはどうしてもいいように思われるが、実は非常に大事なものである。それらはぎすぎすした人間関係を滑らかにしたり、冷却したりする。しかし、学校では少し脇に置かれている。私たちは、これらを総称して文化と呼んだりしている。

まちづくりの会では、地域の文化を高めていくことも活動のひとつに加えたい。

編集長 神本康雅

発行責任者

会長 酒井昭子

広報部長 石田真理子

西徳山まちづくりの会

ホームページ URL:

www.nishi-

tokuyama.gn.to

シリーズ“地元のパワースポット”

「湯野の板碑」

板碑は、旅人の道しるべとして建てられたとされています。

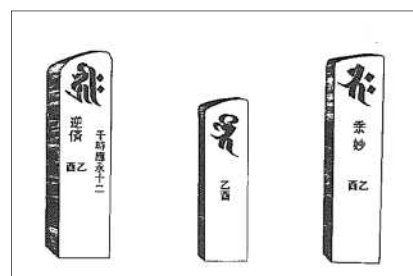
湯野佐古にある板碑は、板のような薄い石で造ってある石碑であるから板碑という。湯野の板碑は梵字板碑で阿弥如来、釈迦如来、薬師如来の三尊の種字を三個の石に刻んでいる。地元の人々には昔から「石仏」といわれて親しまれている、



湯野の板碑

ぜひ湯野の板碑に来て観てください。パワーがみなぎってくるとうけあいです！

板碑のそばには梁瀬川が流れていて、春はふじの花、夏はほたるが飛び交い、秋は紅葉、冬は雪景色をみることができ板碑のそばはマイナスイオンがいっぱいです。



「種から育てた苗で花壇づくり」 花いっぱい運動

周南市の緑と花にあふれる潤いのある環境づくりの一環として、種から育てた苗で花壇づくりの事業に参加しています。

ジニア・ペチュニア・サルビア・マリーゴールドの4種類の種を培養土に蒔き、1ヶ月後にポットに移植し、液肥を与えながら、さらに1ヶ月後に花壇に定植しました。どこに植えてあるか、さがしてみてくださいネ！！



お知らせ

西徳山まちづくりの会の全体会・部会

原則として毎月第1と第3火曜日の19:30から、夜市公民館で開催します。興味のある方は遠慮なくご参加ください。

西徳山いけいけフェスタ開催について（予告）

今年のいけいけフェスタは10月13日（日）に開催します。ボランティアスタッフを募集しますので、是非ご参加ください。